



第18回 ゴールドコンサート決勝大会

●日時 2021年11月6日(土) 14:30開場 15:30開演

●会場 東京国際フォーラム ホールC

●座席 SS席 4,000円 S席 3,500円
(全席指定) A席 2,000円 車いす席 2,000円

- ★必要な方介添者1名無料
- ★合理的配慮・情報保障あり(車いす席、磁気誘導ループ、手話通訳、パソコン文字通訳、テキスト版プログラム)
- ★無料席・車いす席をご希望の方、補助犬をお連れの方は主催者に要事前申込。
- ★ご希望の席をご用意できない場合があります。

チケット申込み

チケットぴあ 0570-02-9999
<Pコード 201-717>

無料

LIVE 配信

当日のゴールドコンサートの模様を全世界に向けて配信します。

下記アドレスにアクセスしてご覧ください。

URL : <https://gc.npojba.org>

日時 : 2021年11月6日(土)
15:30よりスタート



GOLD CONCERT 18
GOLD CONCERT
2021.11.06
OPEN 14:30 START 15:30
東京国際フォーラムホールC

TICKET
チケットぴあ 0570-02-9999 Pコード 201-717
全席指定 SS席 4,000円 S席 3,500円 A席 2,000円 車いす席 2,000円

PARTNERS
協賛: 公益財団法人オリックス富山財団、関西学院大学、キョーマン株式会社、国際ソロプチミスト川崎、ユニコムタカヤ株式会社、株式会社コマンドライディングスクール、株式会社第一興業、第一生命保険株式会社、大塚生命社会福祉の会、東京ロータリークラブ、日本地産株式会社、ノーベア株式会社、バリエータ株式会社、株式会社ニース、株式会社フォーエス、株式会社ジエム、株式会社FUJICOM、三井物産株式会社、Meiji Seika ファルマ株式会社、株式会社森鉄検査、株式会社モンベル、公益財団法人友愛、株式会社ライブメディア、医療法人和楽会(50 数報)

協賛: 公益財団法人AA、アスター・グループ、ノースサイン合同会社、主催: NPO法人日本バリアフリー協会、共催: 財団、共催: 共催

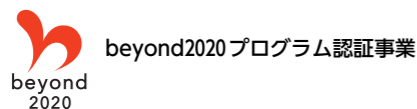
当日は15:30よりLIVE配信(無料)!

NPO法人 日本バリアフリー協会 KEIRIN 競輪の補助事業 beyond 2020

お問合せ

NPO法人日本バリアフリー協会
〒102-0093
東京都千代田区平河町 1-7-16-801号

TEL : 03-5215-1485
FAX : 03-5215-1735
E-mail : info@npjba.org
URL : <http://www.npojba.org>



ポスター制作: ノースサイン合同会社 印刷協力: 株式会社森技報堂

発行所 〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷 3-1-17
ヴェルドーラ祖師谷102号
特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会 定価 50円

編集人 〒102-0093 東京都千代田区平河町 1-7-16 801号
特定非営利活動法人日本バリアフリー協会
代表理事 貝谷 嘉洋



編集・発行
NPO法人日本バリアフリー協会/政策研究所
Japan Barrier-free Association
【事務局】〒102-0093 東京都千代田区平河町1-7-16-801
TEL : 03-5215-1485 FAX : 03-5215-1735 E-MAIL : info@npjba.org
URL : <http://www.npojba.org>

Contents

目次

- 1・2 …… 代表コラム
- 3 …… 出場者活動報告
- 4～ 第18回ゴールドコンサート特集
- 4・5・6 …… 出場者
- 7・8 …… 応募状況
- 9 …… 特別ゲスト / ゲスト
- 10 …… 審査員 / 司会者
- 11 …… ゴールドコンサートご協力者の皆様
NPO法人日本バリアフリー協会理念
- 12 …… 沖縄予選大会特集
- 13 …… 第17回ゴールドコンサートご協力者の皆様
2020年度競輪補助事業完了のお知らせ
- 14 …… NPO活動報告
メディア告知・放送・掲載
- 15 …… ボランティアスタッフ募集のお知らせ
- 16 …… 第18回ゴールドコンサート決勝大会

※本会誌において敬称を省略させていただきます。

代表コラム

◆「信長の野望」で嫌だったこと

「信長の野望」というシミュレーションは大好きで中学～大学の時までやっていました。

何百回と全国統一をしたのですが、1つずつ嫌だった事がありました。それは疫病です。自分の国でおきると、人口が減り、民の忠誠度が減り、生産力が落ち、しまいには他国に攻められて滅亡してしまうこともあります。

だから、疫病が来たら、よくリセットしてもう一度セーブしてあるところまで戻りました。これまで大事に作ってきた国が、滅多にこないような要因のために全然ダメになると

「本当はこんなはずじゃなかったのに」

と、ゲームをやっている面白くないからです。

そう、現在蔓延している新型コロナウィルス感染症、COVID-19こそこの嫌だった疫病なのです。

「あーっ、リセットボタンを押したい！」と、思うことが何度もあります。

◆主催の音楽イベント

リセットしてコロナ禍前に戻りたい最たるものは、私が代表を務める当法人主催の、「ゴールドコンサート」と「GCグランドフェスティバル」です。

毎年開催している障がい者の舞台芸術コンクール、ゴールドコンサートは今年で18回目になりますが、昨年はコロナ禍に入っていたので、予選大会は3都市でキャンセルし、東京国際フォーラムで行われた決勝大会は、無観客、オンライン配信としました。また、海外からの参加もかきませんでした。

隔年で5回開催した著名なアーティストが複数出演するGCグランドフェスティバルは、次回開催の予定が立っていません。

ただ、現実の世界にはリセットボタンがありません。滅多に起こらないこの嫌だったことを受け入れるしかありません。

エーバルド・クロウ氏との思い出



2007年7月
デンマーク・オーフス郊外の氏の自宅にて



2010年10月
浅草散策



2013年7月
デンマーク コペンハーゲンにて「密談」

本当にありがとうございました。
心よりお悔やみ申し上げます。

◆歴史上は普通の事

とはいえ、人類の歴史を紐解けば、こういった感染症は何十年に一度と頻りに起こる普通の事だともいえます。

実際に世界人口の1%ほどが死亡した約100年前のスペイン風邪や、最近では2000年代のMERSやSARSなどの鳥インフルエンザというものもありました。

感染症によって免疫を持たない先住民族が全滅に近い状況になった例があるのも、歴史的な事実です。

このように私たち人類は常に感染症とあり、常にそれと戦い、文明もそれとともに発展したともいえます。そして、今現代社会に生きている私たちは、全員感染症を生き延びた人々の子孫です。

◆私たちにできること

いずれにしても私たちは、COVID-19という感染症を受け入れて、対処していくしかありません。

国として、巨大企業として、権力による封じ込め、医薬品の開発などできることはあるかもしれません。

個人のレベルでは、せいぜい自分がうつらない様にするか、他の人にうつりにくい行動をとることくらいしかありません。筋ジストロフィーのため呼吸器が弱く、罹ったら大変なことになる私でも、外出を控え、他人と会う時はマスクを着用し、睡眠と栄養を十分にとって予防することくらいです。ちなみにワクチンも2回接種させてもらいました。

法人においても私どものような従業員20名弱の小さいところは、行政の指針に従って予防に努めるのみです。また、事業はイベントが中心なので開催の有無や方式も含めて指針に従うだけです。

◆私たちにとっての三種の神器

予防といえば、最近私は医療機器を3種手に入れました。それは、鼻マスク式人工呼吸器、カフマシーン、痰吸引機と呼ばれるもので、基本的には呼吸機能を維持するために使用されます。

鼻マスク式人工呼吸器は、鼻からの呼吸を電動で圧力を加えて補助するものです。

カフマシーンは咳をするのを補助する機械で、痰を切って出すことができます。

電動式痰吸引機は、必要以上に溜まった痰を電動で排出するものです。

私は、これらを筋萎縮症の三種の神器と呼んでいます。疲れて呼吸が苦しい時や、喉にちょっと何か詰まった時、風邪で痰がたくさん出た時に楽にしてくれる神のようにありがたい存在だからです。

◆エーバルド・クロー氏から知る

これら三種の神器が自分に必要になることは、昨年ご逝去(享年76歳)されたエーバルド・クロー氏を通してかなり以前から知っていました。

クロー氏はデンマーク人で、私と類似した筋萎縮症でありながら、長年、筋萎縮症協会の会長として、障がい者の自立と社会参加の拡大を図ってきました。その中で特にグリーンコンサートという20万人規模の野外音楽フェスティバルは、これまでの障がい者の活動のイメージを著しく変えました。

生前日本およびデンマークで何度もお会いしましたが、自身で福祉機器や医療機器を駆使して、病院や施設ではなく地域での生活を維持し、協会の事業拡大のために多忙な日々を過ごされていました。

一度、日本に招待しましたが、三種の神器のほかメインで使う電動車いす、手押しの車いす、床走行式リフト、また胃ろうも持ち込まれたので、空港からホテルまでマイクロバスをチャーターしなければなりませんでした。

そのような状況で、ゴールドコンサートでの舞台あいさつ、シンポジウムでの基調講演、ワークショップ、新聞の取材など忙しい日程を精力的にこなされました。

その姿を間近で見ていると、機器を必要に応じて導入していけば、かなり長生きでき、精力的に仕事ができることを否が応でも知ることになりました。

◆早ければ早いほうがいい

筋萎縮症の三種の神器は、まだほとんど使っていませんが、少しずつ利用して、慣れておいて、感染症等に罹ることによる急性期の時に、周りの人々の支援も含めうまく利用できるようにしておきたいと思っています。

私は、医療や福祉に関係する機器の導入は、それにより体の機能が落ちないように努めてさえいれば、基本的に早ければ早いほどいいと考えています。

確かに見た目は病人っぽくなりますし、自分でも機能の低下を強く自覚することになりますが、少なくとも機能低下を平均的な速度で迎えることができます。

例えば、車いすは、歩ける段階から社会生活で必要に応じて使い始め、歩く機能は水中トレーニング等で維持します。そして、歩けなくなる頃には車いすを完全に使いこなし、周囲のバリアフリー環境も整えておきます。

そうすれば、歩行中の転倒による大幅な機能低下をまねく可能性が減り、周囲の人々の理解も得られ、仕事や趣味、それによる人間関係などの社会生活も縮小しながらでも、急激な変化がなく継続していける可能性が高くなります。

ちなみに、欧米では障がい軽度で歩行可能な人でも、高性能な電動車いすを利用しています。

機器を駆使して、入所施設に入るのを避け、自分が慣れ親しんだ地域で、好きな仕事や趣味を継続することこそ幸福であると考えます。

●まとめ

私は、先日51歳になりました。筋力は皆さんよりも早く落ちますが、視力や記憶力といったものも平均くらいですが、落ちてきていると思います。その他様々な機能も同じく落ちてくるでしょう。

最後の日まで、同じ速度でそれぞれの能力が落ちるのが理想だと思っています。そのために機器を早めに使用し始め、少しでも自分の生活スタイルを貫きたいと思っています。

それでは皆さん引き続きご高配のほどなにとぞよろしくお願い致します。

出場者活動報告

過去のゴールドコンサート(以下、GD)出場者の活動を一部ご紹介します。

佐藤ひらり(第9回GDグランプリ)が、東京2020パラリンピック競技大会開会式で国歌斉唱
2021年8月24日(火)
会場:オリンピックスタジアム(国立競技場)

2020年5月~12月

森 圭一郎(第8回GDグランプリ)がKeiichiro Mori Tour2020 GATE~FURERUを開催。

2020年7月4日(土)

張 哲瑞(第16回GD審査員特別賞)身障者才藝徴選大賽(台湾の障がい者のタレントコンテスト)のダンスパフォーマンスの部で優勝。インターネット投票人気賞も獲得。

2020年9月

チャ・ジウ(第14回GD出場)が、OCI Dream Ensembleが企画しSeoul Music Groupが公開したミュージックビデオAmazing Grace with Bach(韓国で有名なクラシックトリオ、SOMA Trioが編曲)に演奏で参加。

2020年9月19日(土)

野田 あすか(第11回GD観客賞)が「おうちでミュージック~あなたに届けたくてオンラインコンサート~」を開催。

2020年11月22日(日)

栗山 龍太(第16回GD楽曲賞)が東京2020オリンピック・パラリンピック公認渋谷区文化プログラム「MERRY SMILE SHIBUYA 2020」(オンライン配信)に出演。

2021年1月

DJ Yuta(第12回GDグランプリ)がTwitterで開催されたUJAMフィルムスコアリングコンテストで優秀作品を受賞。

2021年1月

haru.(第16回GD楽曲賞)がゴールドコンサート受賞楽曲でラジオNIKKEIおとなのバンド大賞「おとバンDE賞」を受賞。

2021年5月16日(日)

会場:豊田市福祉センター

若渚(第16回GD観客賞)が「愛eye逢コンサート」を開催。

2021年5月23日(日)

会場:熊本県立劇場コンサートホール

的場 悟史(第15回GD出場)が「的場悟史サクソフォンリサイタル」を開催。

2021年6月

DJ Yuta(第12回GDグランプリ)が、True Colors CIRCUS: SLOW CIRCUS PROJECT [T∞KY∞(トーキョー)~虫のいい話~]に出演。

2021年7月16日(金)~7月20日(火)

口石 和人(第15周年GDグランプリ)が、KEITH (ARB) & 口石和人 不屈の魂2021Tour Indomitable Soulを開催。

2021年8月1日(日)、8月7日(土)

穴澤 雄介(第7回GDグランプリ)が、東京2020オリンピックの熱戦の模様や選手の活躍を紹介したユニバーサル放送「東京2020オリンピック みんなでハイライト」にゲストとして出演。

第18回ゴールドコンサート特集

出場者

エスペラント

- ◆曲名: パズル ◆障がいの種類: 精神
- ◆地域: 大阪 ◆構成: ボーカル、ピアノ、ピッコロ ほか

★プロフィール★

大阪市大正区にある地域活動支援センター「障害者作業所ひまわり」と大阪市此花区にある就労継続支援A型「就労クリエイターHOPE」のメンバーによって結成されたバンドです。コロナ渦になる前は地域のお祭りやイベントに積極的に参加し活動してきました。オリジナル曲作成にも力を入れており、2019年にはアルバム「光にてらされて」を全国リリースしました。ゴールドコンサートの大阪予選に過去2度参加させて頂いたことがあります。よろしくお願ひ致します。



コウスケ 香介トリオ

- ◆曲名: Another Star ◆障がいの種類: 視覚
- ◆地域: 東京 ◆構成: ピアノ・ボーカル ほか

★プロフィール★

私は都内のライブハウスを中心に活動している視覚障がい者です。2006年に演奏活動を開始してから今年で早15年になります。

日頃は様々な感情をオリジナルに乗せて歌っているのですが、障がいを持つミュージシャンとしてパラリンピックを盛り上げたいという想いがあり、パラアスリートへの応援歌を数年前より製作してきました。

ゴールドコンサートでは、コロナ禍にあっても屈しないで頑張るパラアスリートに、パワフルな楽曲でエールを贈りたいと思います。

そして初出場から5年が経ちますが、最高の仲間と共に再び大舞台で演奏することができるのは嬉しいです。

思い出に残るパフォーマンスができるよう、バンド一同全力で頑張ります！



ナオキ 直駿 [NAOKI]

- ◆曲名: ディリジェーション ◆障がいの種類: 発達
- ◆地域: 佐賀 ◆構成: ボーカル・ベース、シンセサイザー ほか

★プロフィール★

祖父からギターを買ってもらい15歳から音楽を始める。ギター、ベース、ボーカルを担当し3人ロックバンドを結成し活動していたが自分の音楽性を追求するために2021年よりソロ活動を本格的にはじめる。ボーカロイド楽曲製作を得意としYouTube、ニコニコ動画に投稿し日々自己の音楽性を発信している。



ノブタ 信田

アヤ 彩

- ◆曲名: ビリー・ジーン ◆障がいの種類: 聴覚
- ◆地域: 神奈川 ◆構成: ギター

★プロフィール★

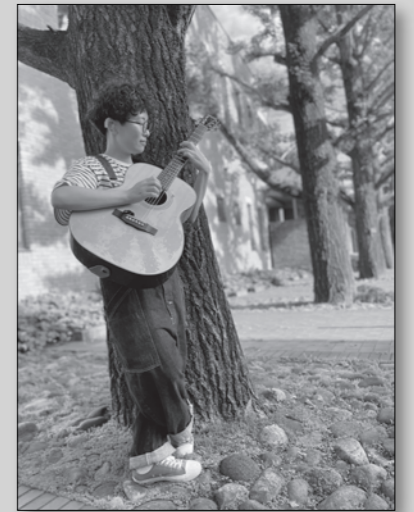
横浜市出身。現在は川崎市在住。

2歳の時に原因不明の100dbの聴力を失う。5歳から補聴器を使い始める。幼少時代は音楽を聴きながら踊り狂う日々を送る。

2012年ろう学校(高校)を卒業して就職。社会の荒波に飲まれる。

2017年、動画サイトで偶然見つけたロシア人ギタリスト、Alexandr Miskoの演奏に感銘を受けギターを始める。以来1日8時間の練習は欠かさない。

パンを食べない日はないほど、シナモンロールとベーグルをこよなく愛する。現在の日課はクロスバイクで多摩川を走ること。



パラフレーズ Paraphrase

- ◆曲名: だいじょうぶ?! ◆障がいの種類: 視覚、精神
- ◆地域: 沖縄 ◆構成: ギター、キーボード、ベース

★プロフィール★

私達は悩んでいる人やこれから新しい世界に一步踏み出そうとしている人達に向けて、自作の「歌の処方箋」を届けることを目標に沖縄県を拠点に活動しています。一人でも多くの方にエールを届けられる様に心を込めて演奏します。応援よろしくお願いします。



メグト Megto

- ◆曲名: 灯火 ◆障がいの種類: 聴覚
- ◆地域: 東京 ◆構成: ボーカル・ドラム ほか

★プロフィール★

幼少期から音楽に触れ、ピアノ、ドラム、ボーカルなど、様々な楽器をやりながら自分のスタイルを探究している。バンド活動をしている最中、左耳の不調を訴えてから、回復せず中途失聴となる。

現在はドラマーとしてのサポートや、音楽講師もやっている。静と動のコントラストを放つ演奏に、ご注目を。



ワカナ
若渚

- ◆曲名：ひだまりの香り ◆障がいの種類：視覚
- ◆地域：愛知 ◆構成：ピアノ・ボーカル

★プロフィール★

全盲の歌姫 若渚(わかな) 愛知県在住。生まれつき全盲。小学5年生から音楽活動を始める。2013年3月マキシシングルCDを発売。2014年3月「そのままの今を好きになる～14歳全盲奇跡の歌姫」(世界文化社)出版。24時間テレビ(中京テレビ)には2015.16.17.20年出演。2017年ニューヨークのオフブロードウェイにてASPJの皆さんとパフォーマンス。2019年シングルCD「空」アルバム「Plage」発売。同年ゴールドコンサートで観客賞を受賞。2020年豊田市委員会文化新人賞受賞。エフエム豊田RADIO LOVEATで月一回「若渚ののっこりタイム」放送。あん摩・マッサージ・指圧師の国家資格を持ち心と身体に寄り添えるよう歌とマッサージを両立し、全国でライブや学校講演等で活動中。



ヒロシマグルマ
広島車いすダンスくらぶ(チームC) ※特別出場

- ◆曲名：オペラ座の怪人 ◆障がいの種類：肢体
- ◆地域：広島 ◆構成：ダンス

★プロフィール★

藤本 大 (ウィルチェアダンサー)

車いすダンス歴11年。交通事故で左半身が不自由になる。右手だけで器用に車いすを走らせる。自己名言「障がいがあるのが不幸でなく、それから逃げようとするのが不幸だと思う」と彼は言う。その思いはダンスに生きている。底抜けに明るく誰をも笑顔にする、くらぶのアイドル。1歳の娘にはデレデレの父である。海外訪問5回。

赤穴 寿子 (スタンディングパートナー)

重度障がいのある息子を「人として生きてきて、人生の中で輝く瞬間があっても良いのではないかと」母子で車いすダンスを始める。胃ろう、喉頭分離手術それでも舞台上がり、多くの人を感動に誘う。みごとに輝いてくれた息子は4年前に他界しました。



キタガワ トモヒコ
北川 知彦 ※特別出場

- ◆曲名：最愛 ◆障がいの種類：内部
- ◆地域：神奈川 ◆構成：ボーカル

★プロフィール★

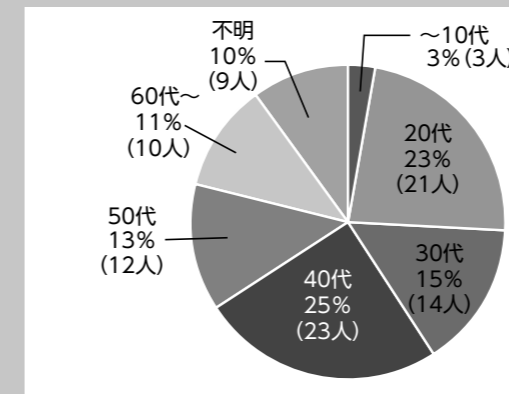
10年以上ゴールドコンサート実行委員としてゴールドコンサートもお手伝いをしてきましたが、数年前からお手伝いしている方々にもスポットライトを当てたらどうか?と考えていたところ、大腸がんが再発し、手術で人工肛門を造設。障がい者となり、(あれ?もしかして)スポットを当てただけか?と興味本位がきっかけで応募しました。がんばります。



応募状況

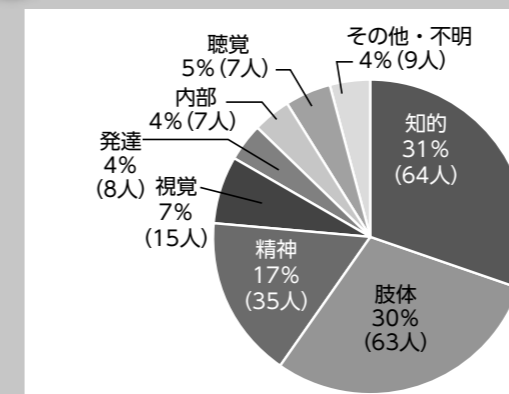
2021年3月8日～5月5日までの応募期間中に音源・映像エントリーと沖縄予選大会を合わせて、92組の応募が寄せられました。音源・映像エントリーは、オリジナル・カバー部門とカラオケ部門(今回より新設)の2部門で募集をしました。カラオケ部門については、当法人への直接応募とカラオケビッグエコー店舗で「DAM★とも」を利用した応募の2パターンで応募ができるようにしました。また、昨年よりダンス等のジャンルについても応募を可能としており、応募のあったジャンルもポップス、クラシック、ロック、ジャズ、ダンスなど多岐にわたります。

1 応募者の年齢 (n=92)



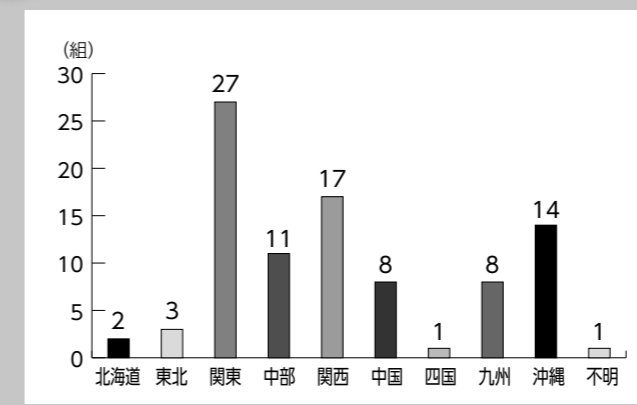
各年代、多少の増減はありますが、例年同じような割合となっています。20代、30代、40代が応募の約5割を占めています。

2 障がいの種別 (n=92)



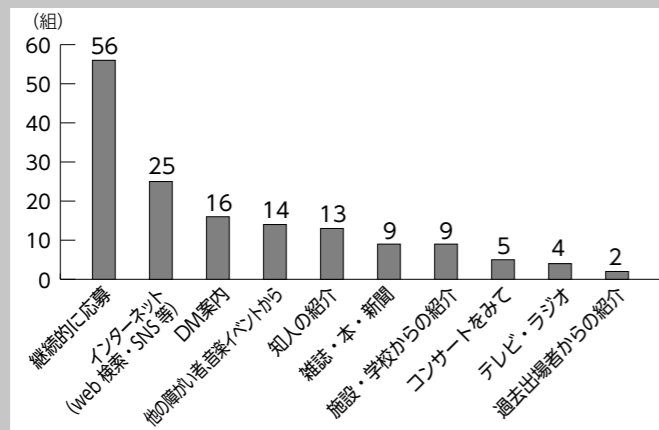
昨年に比べ、知的障がいの方は2.5倍、肢体の障がいの方は3.4倍、応募が増えています。また、聴覚障がいの方の応募も倍増しています。
※重複障がいや、グループに複数の障がい者を含む場合は、それぞれを障がいの種類として集計しています。

3 応募者地域 (n=92)



今年の沖縄予選大会には14組が出場しました。過去7回にわたって開催している関西では、今年は新型コロナウイルス感染拡大のため予選大会の開催が無かったにもかかわらず、音源・映像エントリーの応募数も関東に続いて多い傾向にあります。

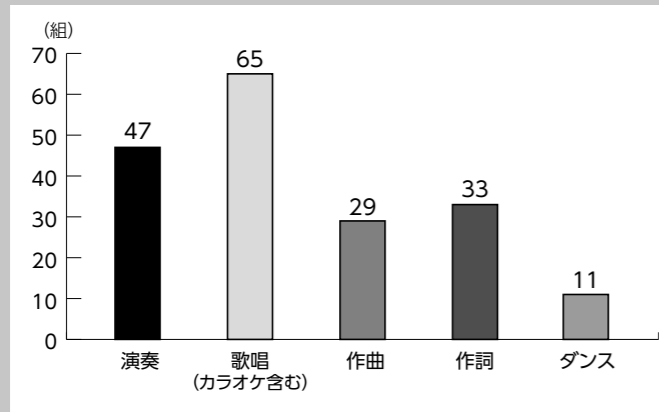
4 応募のきっかけ (n=90)



継続的な応募者56組 (6割)、初応募者36組 (4割) となった今回も幅広く応募のきっかけが分布しています。特に初応募者についてはインターネットでの検索が応募のきっかけとなっている方も多くいます。引き続き、SNS等を含めたインターネットでの募集告知にも力を入れていきます。

※複数回答有、回答者のみを集計

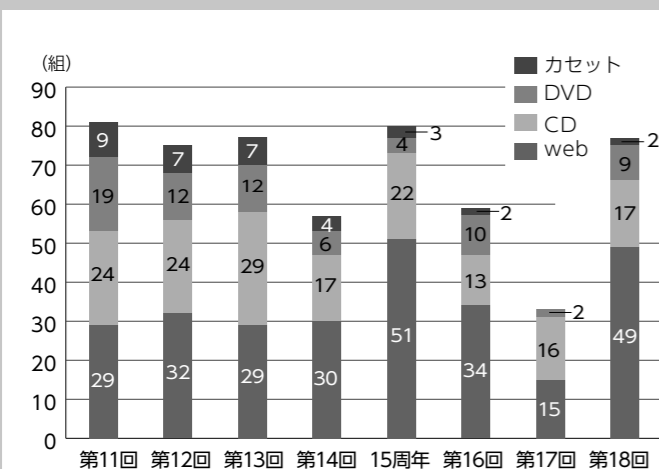
5 障がい者の役割 (n=92)



今回は、オリジナル・カバー部門とカラオケ部門 (今回より新設) の2部門で募集をしました。オリジナル・カバー部門の応募は約8割、カラオケ部門の応募は約2割となりました。昨年よりダンス等のジャンルについても応募を可能としており、約7分の応募がありました。

※障がい者が複数の役割を担当する場合は、それぞれを障がい者の役割として集計しています。

6 音源応募の録音データ (第11回～第18回までの音源エントリーのみ)



今回、YouTubeにアップした音源・映像で応募ができるようにしたため、Webからの応募が多い傾向がありました。特に初応募者の約9割はWebからの応募でした。CD、DVD、カセットの応募もあるため、これらでの応募についても継続していきます。

※第18回のWebについては「DAM★とも」からの応募も含めて集計しています。

特別ゲスト

ヴィヴィッド アンドレス
vivid undress

プロフィール

2014年、別々に音楽活動をしていた kiila (Vo & Gt)、rio (Key)、yu-ya (Gt)、syunn (Ba) が出逢い結成。

後にTomokiが加わり現体制となる。通称“ヴィヴィアン”。

ライブハウスで着実に積み上げてきたキャリアに裏付けされた確かな技巧、バンドカラーにとられない彩り豊かな楽曲が魅力である実力派バンドとして大きな支持を集めていく。

紅一点、kiilaの独創的世界観により綴られた叙情的な歌詞と、時に熱く、時に透き通るような歌声が創り出す、物語性あるライブパフォーマンスもバンドの大きな特徴の一つである。



ゲスト

ジャリ
JAHLI

プロフィール

16才頃に観たクールランニングスという映画でJamaicaとreggae musicに出会い虜になる、Jamaicaに渡り音楽と文化と言葉を勉強する。

のちに川に飛び込んで首の骨を骨折してしまう。日本に帰国後reggaeのDeejayとして活動を始める。現在は歌手としてギター・ケンロウと共にジャリケンとしても活動中。



審査員

【審査員長】



湯川 れい子
(音楽評論家・作詞家)

「音楽は全世界共通の体にも心にも効くサプリメントです。音楽で世界が元気で平和になりますように〜。」

【副審査員長】



吉岡 正晴
(音楽評論家)

【審査員】

阿部 恒世
(WaWaWa元編集長)



工藤 由美
(音楽ジャーナリスト)



小久保 隆
(環境音楽家)



白岩 英也
(みちのくレコード、みちのく歌謡文化連盟 会長)



谷川 公子
(ピアニスト・作曲家)



萩原 岳
(ナレーター、宣伝販売促進コンサルタント)



花村ひろ子
(有限会社エフ・エム・ジー会長)



【特別審査員】

宮川 彬良
(作曲家・舞台音楽家)



ユーコ・スミダ・ジャクソン
(WELLNESS & BEAUTY 研究家、
アウエークニング考案・セルラム代表)



村松 加王里
(フリーアナウンサー)



葛飾ふとめ・ぎよるめ
(学芸人)



司会者

ご協力者の皆様

50音順(後援を除く)

◆ 後援

厚生労働省
文部科学省
東京都
千代田区
社会福祉法人NHK厚生文化事業団
社会福祉法人視覚障害者支援総合センター
全国自立生活センター協議会
全国特別支援教育推進連盟
社会福祉法人鉄道身障者福祉協会
一般社団法人日本筋ジストロフィー協会
公益社団法人日本フィランソロピー協会

◆ 協賛

有限会社エフ・エム・ジー
公益財団法人オリックス宮内財団
関西学院大学
キッコーマン株式会社
国際ソロプチミスト川崎
コニカミノルタジャパン株式会社
株式会社コヤマドライビングスクール
株式会社第一興商
第一生命保険株式会社
大同生命社会貢献の会
東京西ロータリークラブ
日本信号株式会社
ノーベルファーマ株式会社
パイオニア株式会社
株式会社ビーマップ
株式会社フォーシーズ
有限会社フジオートFUJICON
三菱商事株式会社
Meiji Seika ファルマ株式会社
株式会社森技報堂
株式会社モンベル
公益財団法人友愛
株式会社リッツメディカル
医療法人和楽会

◆ 補助事業

公益財団法人JKA



◆ 協力

株式会社エイチ・アイ・エス ユニバーサル
ツーリズムデスク
関西学院同窓会東京支部
江南障害者福祉館 Active Art
クレセント経営研究所
渋谷ズンチャカ!
一般社団法人障がい者自立推進機構パラリン
アート運営事務局
スポーツニッポン新聞社
NPO法人とっておきの音楽祭
公益財団法人日本ケアフィット共育機構
NPO 法人日本バリアフリー政策研究所
パンローリング株式会社
株式会社フジテレビジョン
株式会社 0 段差
株式会社メディカルフォーラム
めびうすのWA
六本木ふるめん

ここまでが第18回ゴールドコンサート特集です。

NPO 法人日本バリアフリー協会運営理念

ミッション(使命)

【障がい者発の事業で社会を豊かに】

「障がいは大きなニーズを生み、社会を発展させる」。この考えを、我々障がい者自身が事業を立ち上げ、実践する。

ビジョン(未来のあるべき姿)

【障がい者も一員として社会に貢献】

「わかりやすく楽しい事業」に、様々な分野からたくさんの人々に参加してもらおう。闘うことはせず、実力を蓄え、賛同する仲間をどんどん増やす。障がい者に対する一般的な見方をポジティブにし、先端技術の発展に貢献することにより、我々障がい者だけでなく社会全体を豊かにする。

主な事業

1. ゴールドコンサート
障がい者が主催するコンテスト事業
障がい者が競う音楽コンテスト
2. GCグランドフェスティバル内容:
障がい者が主催するエンタテインメント事業
著名アーティストが出演する音楽イベント



沖縄予選大会特集

地方にもすそ野を広げるため、第11回ゴールドコンサートより予選大会を開催しています。
初の予選会、第11回ゴールドコンサート関西予選大会を、2014年4月19日(土)にスポニチプラザ大阪で開催しました。全国から14組の応募があり、沖縄の我如古盛健さんが第11回ゴールドコンサート決勝大会に出場となりました。

以前より障がい者の音楽祭の開催を考えておられた我如古さんは、2014年に沖縄発、音楽を通じた障がい者の社会参加音楽祭「愛音楽(アネラ)音楽祭」をスタートされています。

2016年、第13回ゴールドコンサート予選会4か所開催の助成金をいただいた際、ゴールドコンサートの趣旨にも大いに賛同し、沖縄から東京の決勝大会に出場する道筋を作りたいという我如古さんのご協力もあり、予選会の一つとして沖縄で開催することになりました。(第13回は、仙台、大阪、福岡、沖縄の4か所で開催)

第13回~15回の沖縄の予選大会は、助成金をいただきながら当法人が主催していましたが、第16回からは、我如古さんが理事長をつとめるNPO法人サポートセンターケントミに引き継ぎ、沖縄予選大会が開催されています。

今年はコロナ禍ということもありオンラインで開催されました。1組が決勝大会に出場が決定しています。



2016年ミュージックタウン音市場(沖縄市)にて左から、我如古さん、第13回ゴールドコンサート沖縄予選で優勝し決勝大会に出場を決めたConstantGrowth、貝谷(ConstantGrowthは第13回ゴールドコンサートグランプリを受賞)

沖縄予選大会で優勝し、ゴールドコンサート(以下、GD)決勝大会に出場した出場者



パラフリーズ(第14回GD出場) 撮影:川津貴信



島袋 弘(第15周年GD出場) 撮影:大高英樹



神響(第16回GD出場) 撮影:大高英樹



JAHLI(第17回GD出場) ※グランプリを受賞 撮影:安澤剛直

第17回ゴールドコンサートご協力者の皆様

◆補助事業

公益財団法人JKA

◆後援

厚生労働省
文部科学省東京都
千代田区
社会福祉法人NHK厚生文化事業団
社会福祉法人視覚障害者支援総合センター
全国自立生活センター協議会
全国特別支援教育推進連盟
社会福祉法人鉄道身障者福祉協会
一般社団法人日本筋ジストロフィー協会
公益社団法人日本フィランソロピー協会

◆協賛<企業・団体>

有限会社エフ・エム・ジー
公益財団法人オリックス宮内財団
関西学院大学
キックマン株式会社
グラクソ・スミスライン株式会社
国際ソロプチミスト川崎
コニカミノルタジャパン株式会社
株式会社コヤマドライブングスクール
株式会社第一興商
第一生命保険株式会社
大同生命社会貢献の会
東京西ロータリークラブ
日本信号株式会社
ノーベルファーマ株式会社
パイオニア株式会社
株式会社フォーシーズ
有限会社フジオトFUJICON
株式会社まぐまぐ
三菱商事株式会社
Meiji Seika ファルマ株式会社
株式会社森技報堂
株式会社モンベル
公益財団法人友愛
株式会社リッツメディカル
医療法人和楽会

◆協賛<企業・団体>

株式会社エイチ・アイ・エス
ユニバーサルツーリズムデスク
関西学院同窓会東京支部
江南障害者福祉館 Active Art
クレセント経営研究所
渋谷ズンチャカ!
NPO法人サポートセンターケントミ
一般社団法人障がい者自立推進機構
パラリンアート運営事務局
スポーツニッポン新聞社
東京スクールオブミュージック&ダンス専門学校
渋谷/東京ダンス&アクターズ専門学校
NPO法人とっておきの音楽祭
富沢印刷株式会社
公益財団法人日本ケアフィット共育機構
NPO法人日本バリアフリー政策研究所
パンローリング株式会社
株式会社フジテレビジョン
株式会社ブラザーフード・アンド・カンパニー
株式会社0段差
株式会社メディカルフォーラム
めびうすのWA
六本木ふるめん

◆協賛<個人>

新居 倫子
伊藤 毅志
浦田 泉
加藤 進昌
公ちゃん
久保木富房
佐々木 司
清水千佳代
塚田 敏夫
恒藤 晃
永田 啓子
西川 将巳
坂内 恵子
坂内 智也
福島 浩太
村上みな子
森 昭弘
山中 洋子
吉井 勇
吉崎 英雄
他匿名希望 5名

2020年度 競輪補助事業完了のお知らせ



©安澤剛直

この度2020年度の競輪の補助金を受けて、下記の事業を完了いたしました。
一、事業名
2020年度 障がいのある人が幸せに暮らせる社会を創る活動 補助事業
一、事業の内容
第17回ゴールドコンサート
一、補助金額
6,105,246円
一、実施場所
東京国際フォーラム ホールC
一、完了年月日
2021年3月10日

(特非) 日本バリアフリー協会
代表理事 貝谷 嘉洋



記
この度2020年度の競輪の補助金を受けて、下記の事業を完了いたしました。

NPO活動報告 (2020年7月~2021年6月)

2020	7月21日(火)	第17回ゴールドコンサート(以下、GD)実行委員会
	8月19日(水)	2020パラアートTOKYO第7回国際交流展記念シンポジウム(主催:日本チャリティー協会)に当法人代表理事(以下、代表)が登壇@豊島区役所
	8月27日(金)	川崎市長を代表と職員が表敬訪問@川崎市役所
	9月2日(水)	千代田区校園長会へ職員1名が訪問@千代田区役所
	9月16日(水)	ソロプチミスト川崎例会で代表が卓話@川崎日航ホテル
	9月18日(金)	特別支援学校長協会へ職員1名が訪問
	9月29日(月)	NHK障害福祉賞専門委員会に代表がZoom出席
	10月2日(金)	第17回GD関係者進行・演出打合せ
	10月8日(木)	第17回GD関係者映像打合せ
	10月12日(月)	第17回GD関係者、職員1名が会場下見@東京国際フォーラム
	10月13日(火)	第17回GD実行委員会
	10月20日(火)	第17回GD関係者進行・演出・映像打合せ
10月26日(月)	内閣府ヒアリングに代表が参加@中央合同庁舎	
11月4日(水)	朝日小学生新聞の取材	
11月7日(土)	第17回GDボランティア説明会をオンライン開催	
11月9日(月)	第17回GD東京国際フォーラム会場打合せに職員2名が出席@東京国際フォーラム	
11月13日(金)~19日(木)	実行委員会・分科会	
11月21日(土)	第17回GD決勝大会を主催@東京国際フォーラム	
12月15日(火)	第17回GD反省会	
12月25日(金)	第69回東京都社会福祉大会 福祉のまちづくり功労者に対する知事感謝状を受賞	

2021	2月15日(月)	世界の筋ジストロフィー協会オンラインミーティングに代表が参加
	2月24日(水)	千代田区障害者支援協議会に代表の貝谷がオンライン出席
	2月23日(火)	第18回GD沖縄予選大会開催(主催:NPO法人サポートセンターケントミ)
	3月17日(水)	第18回GD実行委員会
	3月28日(日)	平松一夫元関西学院理事長学院葬・お別れの会に代表が参列@関西学院大学
	5月24日(月)	当法人理事会総会を開催
	5月31日(月)	千代田区障害者支援協議会に代表がオンライン出席
	6月22日(火)	第18回GD審査員オンライン会議
	6月27日(日)	日本筋ジストロフィー協会総会に代表がオンライン参加

メディアによる告知・放送・掲載

(各項目50音順)

テレビ・ラジオ	NHK 各局 日本海テレビ	インターネット・雑誌・機関紙等	スポニチアネックス スポニチプラス 公益財団法人東京ミュージック・ボランティア協会ホームページヘルシーミュージック ちよだボランティアセンター「volunteer」 東京都オリンピック・パラリンピック教育事務局 月刊ニューメディア 一般社団法人日本筋ジストロフィー協会「一日も早く」文化庁地域文化創生本部「令和元年度障害者による文化芸術活動推進事業事例集」 MAG 2 NEWS
新聞	朝日小学生新聞(2020年11月18日) スポーツニッポン(2020年11月11日)		

《ボランティアスタッフ募集のお知らせ》

ゴールドコンサートは、国内外の予選及び音源・映像審査、約100組の中から勝ち抜いた約10組の障がいをもつミュージシャンがグランプリを目指す音楽コンテストです。今年で18回目を迎えます。(昨年、学生さんから社会人の方まで約150名の方にご参加いただきました)

イベントの運営を有志でお手伝いいただける、当日ボランティアと実行委員(企画・運営・告知宣伝活動の主導的役割を務める)を募集しています。

★ 第18回ゴールドコンサート決勝大会当日ボランティア ★

開催日時

2021年11月6日(土) 8:00頃~20:00頃
ただし仕事内容によっては時間が早まったり、お昼からの参加となったりする場合があります。お昼からの参加を希望の方はご相談ください。

会場

東京国際フォーラム ホールC【最大座席数1,502席】
(東京都千代田区丸の内3-5-1)

仕事の内容

障がいをもつ出場者や舞台裏の手伝い、来場者の受付・案内、機材の搬入搬出、会場警備、その他
※コンサートを観覧いただきレポートを提出していただく事もあります。
※経験は問いません。障がい者の方も歓迎
※手話、出来る方歓迎

コンサート当日の諸条件

ボランティア保険(万一の事故に備え主催者側で一括加入)、軽食・飲み物の代替としてQUOカード支給あり、交通費の支給なし

締め切り

2021年9月30日(木)
(※応募多数の場合、締切前に募集を終了する場合があります)

ボランティア説明会

2021年10月23日(土) 13:00~15:30
オンライン開催

▶お申込みはこちら

<https://forms.gle/HcnMbnbQcSdBjxMEA>



★ ゴールドコンサート実行委員 ★

● 活動日 ●

実行委員会: 2021年8月18日(水)、9月15日(水)、10月5週目、12月15日(水)
ボランティア説明会: 2021年10月23日(土)
第18回ゴールドコンサート決勝大会: 2021年11月6日(土)

● 活動の内容 ●

- ①ゴールドコンサート(決勝大会及び予選大会)に向けての企画・運営の準備。
- ②ゴールドコンサートの告知・宣伝活動。
- ③ゴールドコンサート当日、割り振られた係のボランティアをまとめ、主導的役割を担う。
※経験は問いません。障がい者の方も歓迎
※ゴールドコンサートの趣旨に賛同し、「素晴らしいコンサートをつくりたい!」「多くの人に広めたい!」という思いをお持ちの方。
※ゴールドコンサートを含めた実行委員会(会議)、国際交流会等に極力参加できる方。

▶お申込みはこちら

<https://forms.gle/3rPUhaYFcbN9GpEo8>



お問合せ先: NPO法人日本バリアフリー協会

電話: 03-5215-1485 FAX 03-5215-1735 E-mail: info@npjba.org